

能登半島の旅（内回りコース）

氏名：濱田 寛 職業：静岡石川県人会／静岡ガス株式会社 都道府県：静岡県

実施日：平成30年11月25日(日)～27日(火)

二泊三日

参加人数：12名

旅行日程：

・25日(日)

6:45 静岡市葵区 出発。新東名高速—東海北陸道—能越自動車道路—12:20(昼食) 漁師屋「秀」—「花嫁のれん館」見学—「座主家」(国指定文化) 見学—珠洲温泉「のとじ荘」(泊)

・26日(月)

8:30 のとじ荘 出発。「祿剛埼灯台(狼煙の灯台)」—「恋路海岸」散策—酒蔵「宗玄」見学—「見附島」—「九十九湾」—「能登ワイン」工場見学—「中居湾ふれあいパーク(ボラ待ちやぐら)」—「明治の館<室木家>」見学—(昼食) 牡蠣「木村功商店」—「能登島ガラス工房」見学—「能登島ガラス美術館」—「のとじま水族館」—和倉温泉旅館「宿守屋寿苑」(泊)

・27日(火)

8:30 宿守屋寿苑 出発。能登食祭市場(お買い物)—「山の寺・寺院群」見学—「一本杉通り」見学—(昼食) 漁師屋「秀」—能越自動車道路—東海北陸道—新東名高速—静岡県着。

ガイド：「七尾観光ボランティア・ハロウガイドななお」

今回ガイドをお願いしました。

森本さん「私の親戚」 *2泊3日間をガイド

田辺さん「私のいとこ」 *七尾市全域を案内

11月25日(日)、静岡観光バスにて2泊3日の「能登半島の旅(内回りコース)」を実施しました。

メンバーは、40年前私が千代田小学校(児童数1300名)のPTA会長の時の仲間12名。

旅行前から参加者から「カニが解禁になった」や「牡蠣もいいね」など楽しみな様子。

上記日程にて能登の各所(珠洲市・能都町・穴水町・七尾市)を巡りました。

初日の「花嫁のれん館」では、花嫁のれんの美しさに感激したとの感想をいただきました。

2日目の酒蔵「宗玄」や「能登ワイン」では見学、試飲、そして買い物を楽しみ、そしてボラ待ちやぐらの面白い光景を車窓から楽しみました。

牡蠣小屋主人木村功商店(家内の同級生)は牡蠣だけではなく、鱈・カマス・井など、本当に美味しかったです。

宿泊先「宿守屋寿苑」(支配人は妹の友人)では、七尾マダラ愛好会(私の同級生)15名による民謡を披露をしていただきました。羽織袴で威厳を正して謡、舞う姿は始めて見る凄い民謡でした。

最終日の能登食祭市場では、鮮魚の「山田屋」(同級生)・焼き魚の「竹一」(同級生)にて、皆さん沢山の買い物です。観光バスでは、静岡のお客さんが一番買ってくれますよね、と観光地ではもう定番です。

その後、紅葉がまだ残る「山の寺・寺院群」を散策。山の寺・長齢寺(従姉ご信徒)でお抹茶を頂き、重要文化財指定の絵画や前田家のご両親のお墓をお参りさせて頂きました。

一本杉通りにある戸田時計の息子さんに手拍子の打ち方を習い、息子さんが唄う木遣り唄にあわせて、手拍子を全員でしかもお店の中お店の中ですよ、能登に旅行に来てよかったね、来年の旅行も石川県にしたら、とか、大きな声で口々に話していました。

漁師屋「秀」(父方のはとこ)を行き帰りの食事に組み込みました。秀の父は、能登島の漁師なので、食事が本当に美味しいからです。

旅の終わりの感想は概ね好評。やはり、食事(牡蠣料理)が特に好評でした。

<平成30年11月26日>



<平成30年11月27日>

